令和４年度　　事　業　報　告　書

法人の名称　特定非営利活動法人　防犯パトロール ブルーライン

１　事業の成果

新型コロナウイルス感染がある程度収束し、従前の日常生活が少しずつ取り戻せるようになったものの、振り込め詐欺やアポ電強盗等の新しいタイプの犯罪事案が発生し、当団体の防犯活動が改めて企業や団体などに認知されると共に、個と個を結ぶマグネットとしての当団体の存在意義を示す事が出来た。また一般公募による学生ボランティアの方々の積極的な防犯活動への参加については継続的に行う事が出来た。

２　事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

①　防犯及び交通安全に関する事業

ア）厚木市ＳＯＳ防犯協定に基づくパトロールの実施

・内　　容　日本財団と協賛企業５０社で購入した防犯カメラと青色回転灯装備車両（パトカー）並びに青パト登録した１１台の自家用車で、行政の不審者情報を参考に夜間の防犯パトロールを実施。また令和 4 年 12 月 16 日に挙行された県下一斉年末特別警戒合同パトロール出陣式に参加しました。

・日　　時　通年

・場　　所　厚木警察署管内全域

・従事者人員　３０人

・受益対象者　厚木警察署管内在勤在住者

・支　出　額　２６０．０００円

イ）　　こども１１０番ひなん場所推進事業　　中 止

・内　　容　子どもや女性、高齢者、地域住民が「誘拐や声かけ、ひったくり、ストーカー」など、何らかの犯罪被害に遭い、または、遭いそうになって助けを求めてきた場合などに、「子ども 110 番の家」において、その様な人たちを、保護するとともに、警察、学校、家族等へ連絡する配置をおこなう事業については引き続き新型コロナウイルス感染拡大を考慮し各家庭、団体、企業様への訪問を自粛いたしました。

ウ）他団体との防犯パトロールの実施

・内　　容　清川村合同パトロールへの参加。

・日　　時　令和 4 年 5 月 18 日・6 月 8 日・7 月 13 日・8 月 24 日・10 月 12 日
11 月 9 日・令和 5 年 1 月 18 日・3 月 8 日

・場　　所　清川村村内

・従事者人員　ブルーライン隊員２名（他 清川村役場、厚木警察署生活安全課、清川村防犯指導員、煤ヶ谷・宮ケ瀬駐在所勤務員　数名）

・受益対象者　清川村全域

・支　出　額　１，０００円

エ）振り込め詐欺啓発活動の実施

・内　　容　青色回転灯を装備した車両で拡声器を使用した広報活動を行った。
・日　　時　通年
・場　　所　厚木警察署管内全域
・従事者人員　２５人
・受益対象者　厚木警察署管内在勤在住者
・支　出　額　３０，０００円

オ）褒章事業

・内　　容　日頃から防犯活動に貢献している企業団体個人を表彰し、社会において防犯活動に従事することの意義を伝えた。
本年度は学生防犯ボランティア１名の表彰を行った。
・日　　時　通年
・場　　所　日本全国
・従事者人員　２人
・受益対象者　日本全国民
・支　出　額　４，０００円

②　パトロール隊員の技能認定事業

ア）警察官や警察官 OB などを講師に招いての講習及び認定会については新型コロナウイルス感染防止、並びに新入隊員の入会が無かった為開催しませんでした。

③　防犯に関する調査研究及び情報提供事業

ア）ネットを活用した防犯情報の配信

・内　　容　フェイスブック、ツイッター、ブログ、ＬＩＮＥなどを活用して警察や行政、教育委員会などが配信する防犯情報を集約して配信した。
・日　　時　通年
・場　　所　厚木警察署管内全域
・従事者人員　２人
・受益対象者　主に厚木警察署管内在勤在住者を中心とした日本全国民
・支　出　額　１０，０００円

（２）その他の事業

①　広告掲載事業

ア）バナー広告の実施

・内　　容　ホームページ等で企業団体協賛を集い、バナー広告を HP 等に掲載した。
・日　　時　通年
・場　　所　厚木警察署管内全域
・従事者人員　２人
・受益対象者　主に厚木警察署管内在勤在住者を中心とした日本全国民
・支　出　額　２０．０００円